



沼崎詔安議員

行政組織

支所の充実強化を

自治会活動拠点としての役割も検討

質問 支所のあり方について、昨年の九月議会で、「自動交付機などの導入や民間委託をすることにより廃止できないか検討したい」とのことだったが、それでいいのか。

支所があることにより、地域の共同体としてのいろいろなもの、安心な生活がそこにあるのではないか。

町長の意とする町づくりを推進するためにも、船越・豊間根支所の充実強化を、今一層図るべきと思うがどうか。

沼崎町長 両支所については、行政改革の一環とし

て住民票、印鑑証明書などの交付業務を郵便局などの民間に委託できないか検討する方向である。

一方では、支所は公民館としての役割もあることから、限られた人員の中で支所職員を公民館職員として兼任発令し、公民館事業や自治会活動の支援も行ってるところである。このため、行政改革を推進していく中で、公民館としての役割や住民協働を推進する上から自治会活動の拠点としての役割も視野に入れて検討しなければならぬと考えている。

施設整備

中央公民館大ホールの改修 事業費を盛り込むよう調整を図る

質問 十一月の町民芸術祭は、沢山の町民が参加して素晴らしいものだった。

「民謡と踊りのつどい」や「合唱発表」の舞台となった中央公民館大ホールは、緞帳が上がったままで使え

町の考えを聞く



町民芸術祭「民謡と踊りのつどい」の様子

と思うがどうか。

松尾教育長 建築以来二十年が経過し、舞台吊り物、照明設備、冷暖房設備など、施設全体が劣化している。専門業者からは、緞帳や照明器具などは、危険な状態で使用できないと指摘されている。また、昨年は大ホールに雨漏りが生じた他、緞帳などが使用できず利用者に迷惑をかけた。

平成十九年度以降の総合発展計画の見直しの中で改修事業費を盛り込むよう調整を図っていきたい。